



# 賢く 優しく 逞しく

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/>

武蔵村山市立第五中学校

7月号・令和6年7月1日発行

## 「七転び八起き」と「孤高」

校長 榎戸 千代子

7月を迎えました。先日、夏の風物詩の一つである「蛍」を見る機会がありました。夜に蛍を観賞することを「蛍狩り」と呼ぶようですが、まさにそれです。最近では、蛍の生息する場所も少なくなり、蛍の乱舞とまではいきませんでした。とても幻想的で静かに眺めているうちに、清少納言の『枕草子』にある「春はあけぼの。～」の一節、「夏は夜。～」を思い出しました。平安時代の清少納言が身近に感じられ、何とも不思議な気持ちになりました。

夏は夜。月のころはさらなり、闇もなほ、蛍の多く飛びちがひたる。

また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。



《訳》夏は夜がよい。月が出ている頃は言うまでもなく（月が出ていない）闇夜も、蛍が多く飛び交っている（のがすばらしい。）また、（たくさんではなくて）ほんの一匹二匹が、かすかに光って飛んで行くのも趣がある。



さて、話は変わりますが、6月20日（木）に、将棋の第9期叡王戦五番勝負の第5局が甲府市で行われました。挑戦者の伊藤匠七段が、156手で叡王を保持する藤井聡太竜王（名人、王位、王座、棋王、王将、棋聖）に勝ち、3勝2敗で初タイトルとなる叡王を奪取したという話題がニュースで大きく報じられました。

伊藤七段は藤井竜王と同学年で、小学生の頃からしのぎを削ってきた仲のようです。藤井竜王は昨年10月11日から254日間、将棋の八大タイトル（八冠）を独占してきましたが、今回一步後退しました。AI将棋全盛の昨今、どの棋士も藤井竜王打倒に向け研究を重ねる中で、八大タイトルを維持し続けることはものすごく大変なことだったと思います。藤井竜王はインタビューで、「（八冠陥落は）時間の問題だと思っていたので、あまり気にせず、また頑張っていきたい。」と述べています。地元愛知県瀬戸市では、「七転び八起き」（何度失敗してもめげずに立ち上がること）という声上がり、もっと強くなって戻ってくるのではないかとエールと期待を寄せています。

一方、伊藤七段は、最終第5局から一夜明けた21日（金）に、「孤高」と揮毫（きごう）した色紙を掲げ、記者会見に臨みました。本人からはこの「孤高」について、「しっかり信念をもってぶれずに高みを目指していく意味」という説明がありました。今回の対局で、勝負はつきましたが、両者とも勝敗にとらわれず信念をもち、次を目指していくところに惹かれるものがあります。この気持ち（信念）を私達の日々の生活にも生かしていきたいものです。

### 五中サミット

6月13日（木）に校区二小、八小、十小の児童会と都立武蔵村山高校の生徒会の皆さんを五中に招き、第1回「五中サミット」を開催しました。この日のテーマは、「各校のいじめ防止に向けた取組状況やいじめ防止標語の発表、情報の共有」です。本校生徒会からは、「ありがとう あなたに向けて 贈ります」という標語と学校の取組の紹介、そして、「温かく 優しさのある五中を目指す」という決意表明がありました。生徒会、児童会も子供たちの先頭に立ち、五中校区として、いじめ防止の取組を推進しています。